

令和4年度 東海防衛セミナー開催

日本を守るための防衛力の強化～我が国の安全保障の大きな転換点～

令和5年2月28日（火）、東海防衛支局は、津リージョンプラザお城ホール（三重県津市）において、令和4年度東海防衛セミナーを開催しました。

国際秩序が重大な挑戦にさらされ、我が国周辺で急速な軍備増強が進み、力による一方的な現状変更の試みが増加するなどといった厳しい安全保障環境に対応するために令和4年12月に政府が閣議決定した「防衛3文書」（国家安全保障戦略など）について、地域の皆様のご理解を深めていただくために、「日本を守るための防衛力の強化～我が国の安全保障の大きな転換点～」をテーマに講演を行い、多くの方々にご来場いただきました。



宮原東海防衛支局長

主催者を代表して東海防衛支局 宮原賢治支局長が挨拶を行った後、第1部は「新たな国家安全保障戦略・国家防衛戦略・防衛力整備計画」と題し、防衛省防衛政策局防衛政策課 飯島秀俊課長から、我が国周辺の軍備増強など「防衛3文書」策定の背景にある安全保障環境の変化、大規模なミサイル攻撃やハイブリッド戦といった新しい戦い方にも対応する我が国の防衛力の抜本的強化の内容などについて講演を行いました。



飯島防衛政策課長



陸自第33普通科連隊長
金子1等陸佐

第2部では「ウクライナ情勢を踏まえた自衛隊の役割」と題し、三重県津市の陸上自衛隊第33普通科連隊長 金子洋幸1等陸佐から、情報関連の職務なども通じて培ってこられた軍事に関する高い分析力をもとに、ウクライナ情勢の軍事面の解説や、自衛隊の部隊指揮官の立場から見た今後の自衛隊の役割について、興味深い講演をしていただきました。

ご来場の方々からは「3文書の意義、メッセージが理解できた」、「ウクライナ情勢を踏まえた上で様々な状況が理解できた」、「もっとたくさんの人に知って欲しい」など、多くのご意見・ご感想をいただきました。

皆様からいただいた貴重なご意見、ご感想を参考に今後もよりよいセミナーの開催に努めてまいります。